

第4弾「台湾をもっと知ろう！」
～わたしたちの花蓮展～

報告書

株式会社ルアナガーデン

代表取締役 森 靖一郎

アウトライン

2

- ▶ 概要
- ▶ 写真紹介
- ▶ メディア紹介
- ▶ 動画紹介

概要

概要：スケジュール

①事前台湾華語講義

2月11日（土）

②台湾研修

2月22日（水）～2月28日（火）（台湾は2月23日～2月27日）

③わたしたちの花蓮展

3月21日（火）～4月9日（日）

概要：参加者等

- ▶ 日程：令和5年2月22日～2月28日（台湾は2月23日～2月27日）
- ▶ 主な訪問先：台北市、花蓮市、花蓮県光復郷
- ▶ 参加者（受講生）：糸数かれん、上地艶子、田頭一、田頭染、田頭瑠都
- ▶ 参加者（運営側）：小池康仁、前黒島萌、森靖一郎

概要：旅程表（花蓮市）

6

2月24日（金）

- ▶ 7：30 鉄道にて台北から花蓮市に移動
- ▶ 11：00 花蓮市役所

魏嘉彦市長あいさつ、小池団長あいさつ、訪問団紹介、観光PR、笛演奏
日本語学科高校生の発表、記念品交換、記念撮影、インタビューなど

- ▶ 12：00 昼食交流会
- ▶ 16：00 記念モニュメント見学
- ▶ 17：30 松園別邸
- ▶ 18：30 東大門夜市

概要：旅程表（タバロン）

7

2月25日（土）

▶ 8：00 張先生、劉校長の車でタバロン地区へ出発

▶ 9：20 タバロン小学校到着

ジョギング（4km）、児童たちとあいさつ、タバロン小学校案内、記念撮影
お土産手渡しなど

▶ 11：00 光復郷民族博物館

▶ 12：00 昼食交流会

▶ 14：00 アミ族祭祀場

▶ 14：30 花蓮製糖工場跡

▶ 15：20 鉄道にて光復から台北に移動

概要：旅程表（台北）

8

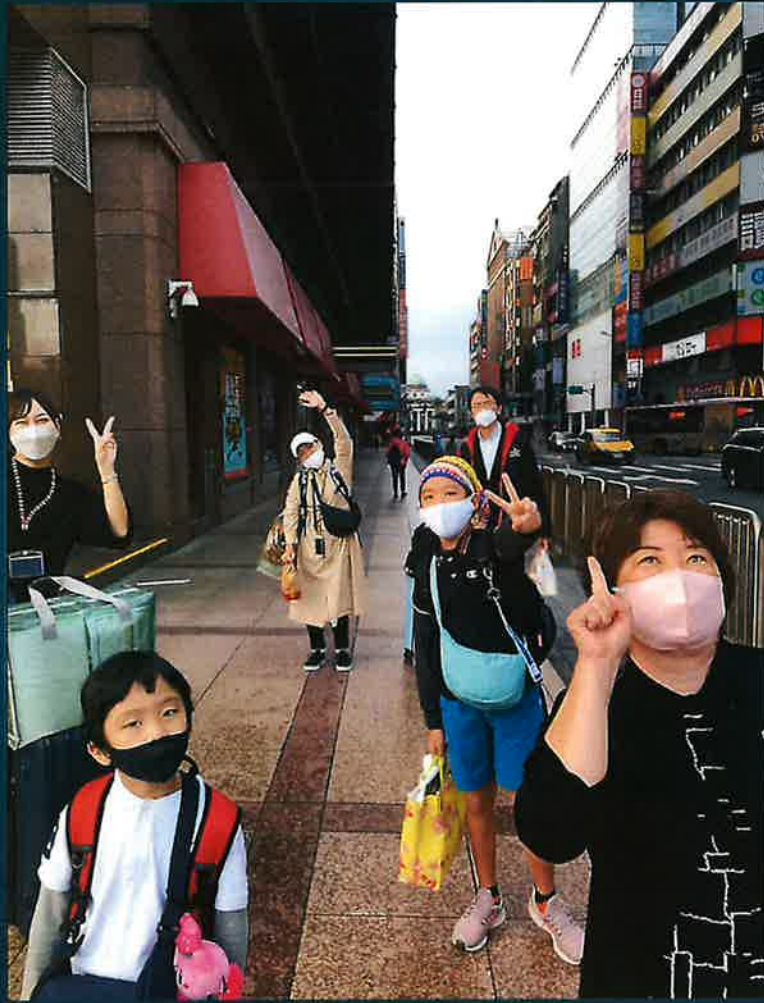
2月26日（日）

- ▶ 9：30 中正紀念堂
- ▶ 10：30 青田街（旧日本人街）案内
- ▶ 12：30 昼食交流会
- ▶ 19：30 台北101
- ▶ 21：00 臨江街觀光夜市

写真

写真：2月24日 花蓮に出発

10



写真：2月24日 花蓮到着

11



写真：2月24日 花蓮市役所

12



写真：2月24日 花蓮市役所

13



写真：2月24日 花蓮市役所

14



写真：2月24日 花蓮市役所

15



写真：2月24日 モニュメント



写真：2月24日 東大門夜市

17



写真：2月25日 タバロン小学校

18



写真：2月25日 タバロン小学校

19



写真：2月25日 昼食交流会

20



写真：2月25日 製糖工場跡

21



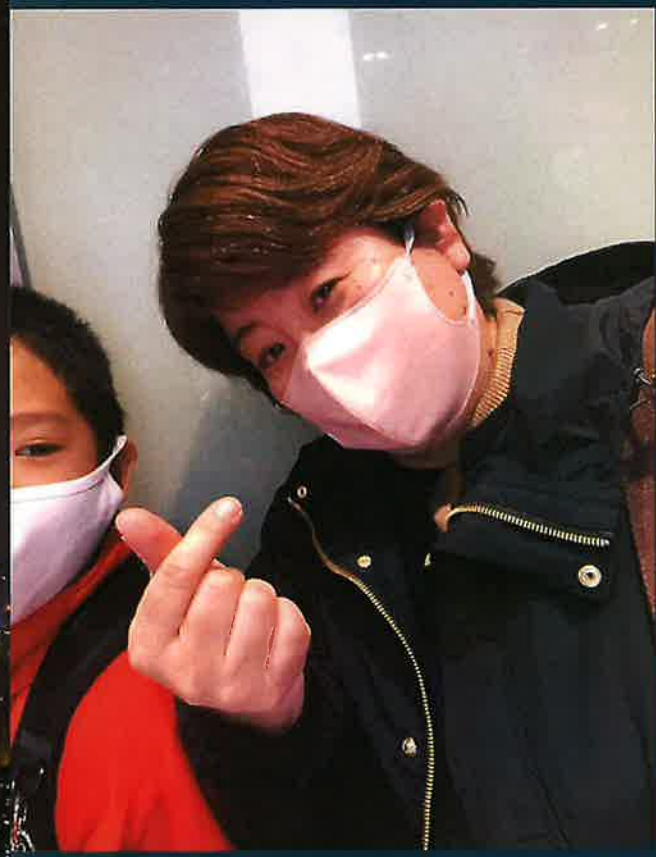
写真：2月26日 青田街

22



写真：2月26日 101

23



写真：2月26日 臨江街觀光夜市

24



わたしたちの花蓮展開催（3月21日）

25

「台湾をもっと知ろう！」第4弾特別企画

わたしたちの花蓮展

～受講生による花蓮訪問の記録～

令和5年3月21日(火)～4月9日(日)

DiDi与那国交流館

出展者

糸数かれん
上地艶子
田頭一
田頭染
田頭瑠都
前黒島萌
森靖一郎

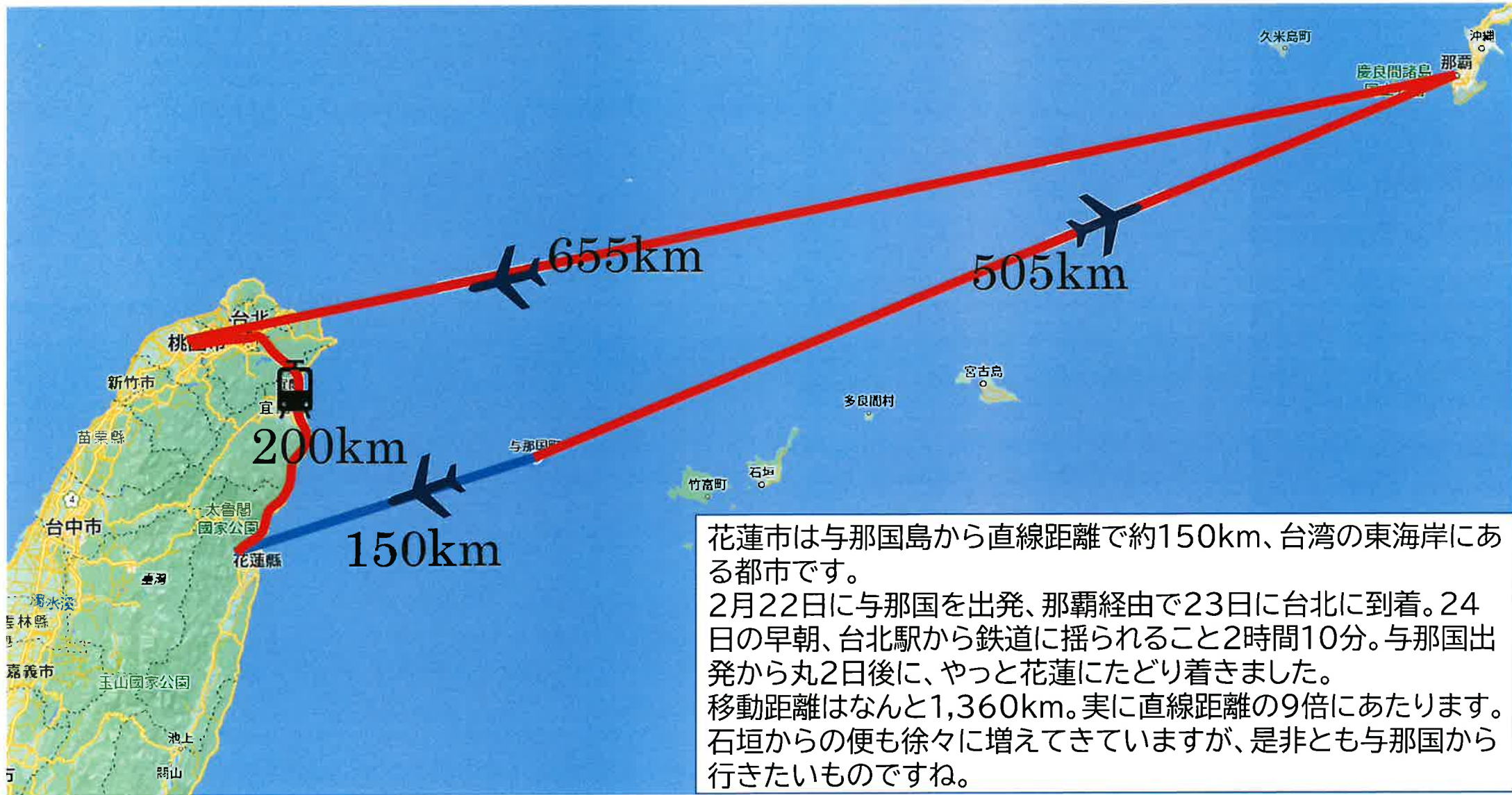


姉妹都市 花蓮市ってどこにあるの？

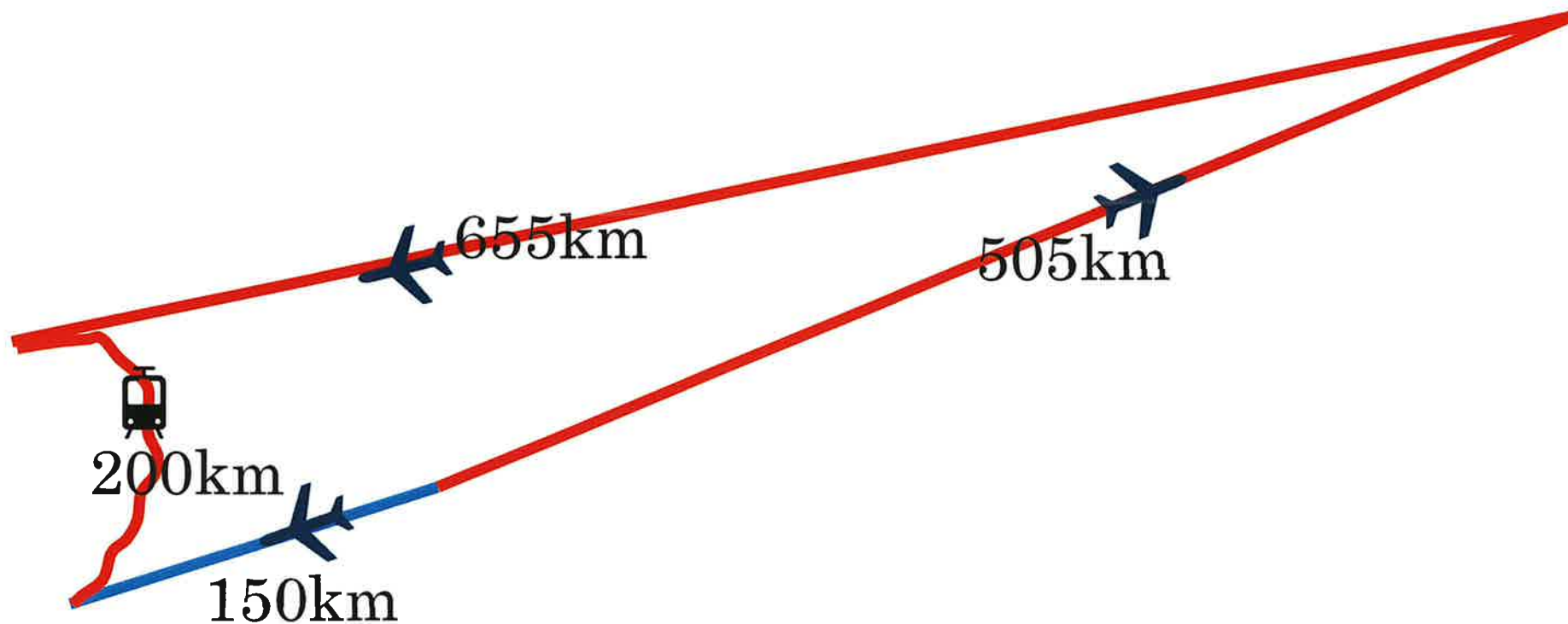


花蓮縣 ズバリ、こちらです！

花蓮にはどういう経路で行ったの？



花蓮市は与那国島から直線距離で約150km、台湾の東海岸にある都市です。
2月22日に与那国を出発、那覇経由で23日に台北に到着。24日の早朝、台北駅から鉄道に揺られること2時間10分。与那国出発から丸2日後に、やっと花蓮にたどり着きました。
移動距離はなんと1,360km。実に直線距離の9倍にあたります。石垣からの便も徐々に増えてきていますが、是非とも与那国から行きたいものですね。



今回の移動ルート
直線距離



なんと
直線距離
の9倍

1,360km
150km

花蓮のどこに行った？



花蓮市で回ったところは地図の通りです。
花蓮市は思った以上に都会で見どころ満載。今回は1日間の滞在でしたが不完全燃焼です。今度はゆっくり訪れたいものです。
与那国町と花蓮市の姉妹都市40周年を記念してつくられたモニュメントは中琉紀念公園にあります。台湾と琉球の友好を記念した公園に設置されていることに感銘を受けました。
花蓮市役所では文字通り「熱烈歓迎」を受け、とても感動しました。市役所の皆さまはとても熱く、優しい方々でした。



タバロン小学校ってどこにあるの？

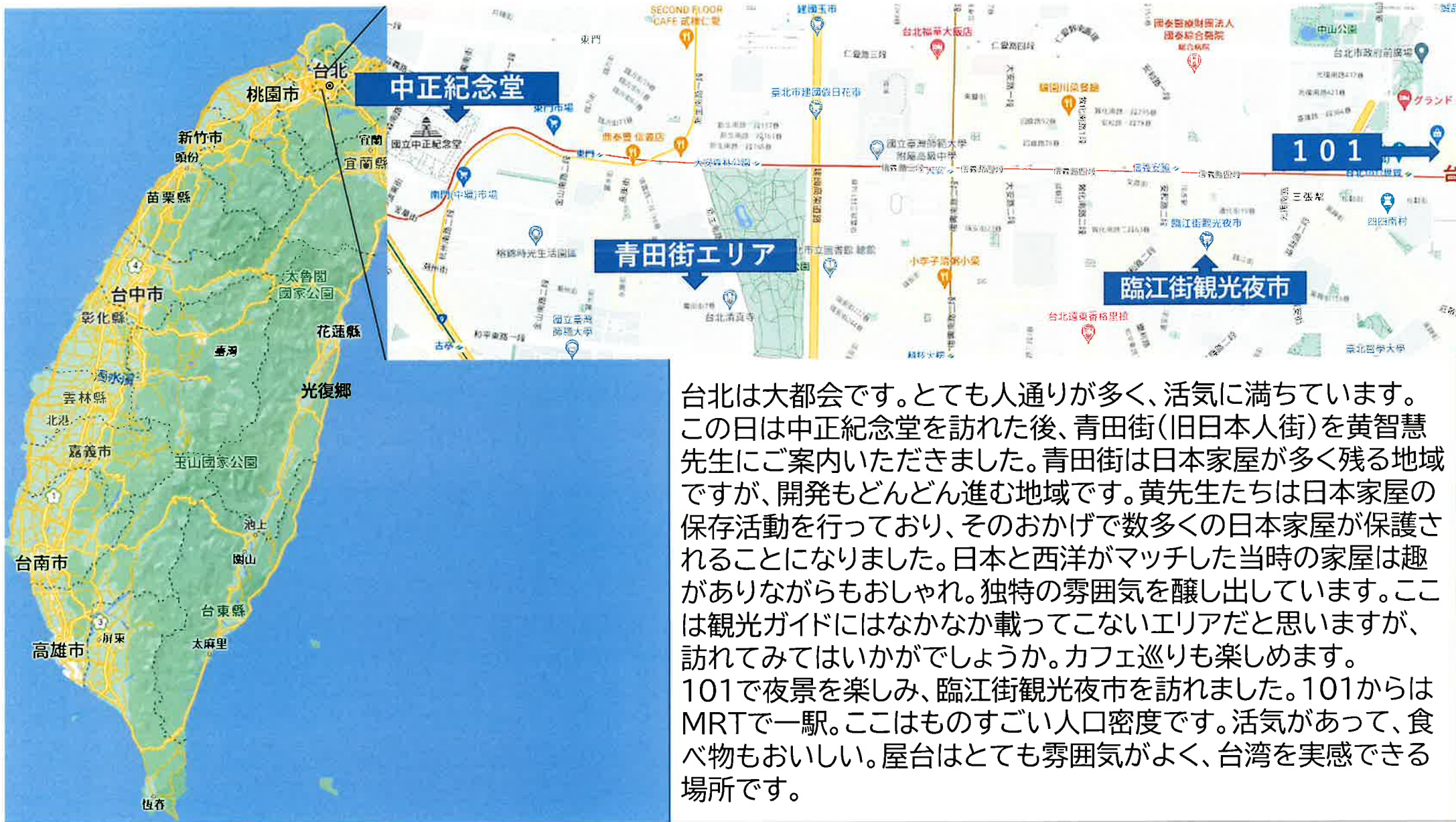


与那国の小学校と交流があるタバロン小学校を訪問。滞在先の花蓮市からは、張宏達先生、劉從義校長(タバロン小)が車を出していただき、約70分かけて移動。張先生、劉校長本当にありがとうございました。

タバロン小学校は光復郷にあり、そこは花蓮市ではない。なぜ、タバロン小学校との交流になったか。それは張先生にご紹介いただいたことがきっかけ。張先生曰く、タバロン小の雰囲気が与那国にとってもよく似ていたからだ。タバロン集落に入ると、張先生の仰ることがとてもよくわかった。

タバロン小に着いてすぐ、児童たちと一緒にジョギング。子供たちに声援を送る近所のおじい、おばあ。気質も与那国そっくり。光復駅から台北に向かったが、駅には花蓮市職員の林さんたちの姿が。お土産もいただいた。なんて温かい方たちなんだろう。

台北の旧日本人街ってどこにあるの？



台北は大都会です。とても人通りが多く、活気に満ちています。この日は中正紀念堂を訪れた後、青田街(旧日本人街)を黄智慧先生にご案内いただきました。青田街は日本家屋が多く残る地域ですが、開発もどんどん進む地域です。黄先生たちは日本家屋の保存活動を行っており、そのおかげで数多くの日本家屋が保護されることになりました。日本と西洋がマッチした当時の家屋は趣がありながらもおしゃれ。独特の雰囲気醸し出しています。ここは観光ガイドにはなかなか載ってこないエリアだと思いますが、訪れてみてはいかがでしょうか。カフェ巡りも楽しめます。101で夜景を楽しみ、臨江街観光夜市を訪れました。101からはMRTで一駅。ここはものすごい人口密度です。活気があって、食べ物もおいしい。屋台はとても雰囲気がよく、台湾を実感できる場所です。